

人材育成基礎研修(研修A)

目的： 地域で子どもの読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館への支援等も行える人材を養成する。

日時： 平成26年6月11日(水)

場所： 福島県立図書館

参加者： 66名



講演 「子どもと読書について ～学校図書館、ボランティアの役割を考える～」

福島大学名誉教授 高野 保夫 氏

1 学習基盤づくりと読書

- ・ 県の施策「確かな学力の向上」の学びを支える学習基盤づくりに読書活動が位置づけられている。
- ・ 読書する子どもと学力テストの成績は比例しているという客観的なデータが出ている。

2 読書に親しむ環境への配慮

- ・ 遊びや自然に触れる体験が豊かな子どもの方が本に親しむことができる。また、想像力もはぐくまれるし、読書への集中力も生まれる。読書とあわせて、体験活動をたっぷり用意してほしい。
- ・ 子どもたちの関心に近いことが話題になっていると、子どもたちは本に親しみを持つ。本の選び方や与え方について、読み手は絶えず心配りをするようにしたい。

3 活気ある学校図書館づくりに向けて

- ・ 学校図書館を元気にしたい。小学生の読書のきっかけは学校図書館である。行ってみたい、足を運びたくなる図書館づくりのためには、ボランティアの人たちの支援が欠かせない。



【参加者からの声】

- ・ 体験が読書を生かすための不可欠なエッセンスであると実感した。
- ・ 読書と学力の関係の資料から、小学校での読み聞かせが大切であると感じた。



講話「読み聞かせ～選書と実践のポイント～」

JPIC読書アドバイザー 児玉 ひろ美 氏



1 こどもと本の周辺

- ・ 各種調査から、就学前に読み聞かせをすると小学生で本を読む率が高くなる、読む冊数が多い方が書くこと・調べることが得意である、というデータがある。
- ・ 読み聞かせは言葉の獲得によい。脳の栄養になる。よい言葉をかけてあげたい。
- ・ ロングセラー本は、世代を超えて読み継がれている…よい本と言える。

2 心身の成長に寄り添う本

- ・ 4歳頃までは、読み聞かせを通して親と一緒に過ごす楽しさが大切である。目で情報を得ることが楽しくなる時期である。
- ・ 4～6歳は「なんで、どうして？」の時期。科学の絵本もよい。
- ・ 6歳を過ぎると、自分の生活にすり合わせて学ぶことができる。感想を求めたり、しつけを行ったりしない。子どもが感じるままでよい。



3 集団への読み聞かせの絵本

- ・ ロングセラー本を薦める。絵と文のバランスのよいものを選ぶ。
- ・ 季節・行事・環境・子どもの好きなものとの関連のあるものを選ぶ。

4 読むために

- ・ 事前準備…しっかりページを開く（光るものは特に）
- ・ 持ち方／見せ方…表紙から裏表紙まで。作家名、見返しも丁寧にめくる。
- ・ 読み方／めくり方…手が邪魔にならないように。自分の言葉は挟み込まない。
- ・ 服装…本より目立たないように。

【参加者からの声】

- ・ 本の選び方や読み方、聞き方など具体的に学ぶことができ、とても参考になった。
- ・ 読書が子どもたちに与える影響、年代による絵本の選定など参考になった。
- ・ あらためて読み聞かせの重要性を再認識できた。



事例発表 「魅力ある図書館づくり～子どもたちと本をつなぐかけ橋になりたい～」

二本松市立二本松図書館 半澤 順子 氏

1 二本松図書館の取組

- ・ 子どもたちが少しでも本を手にしてくれるよう、絵本紹介コーナーや図書館職員のおすすめ本コーナーなどを設置している。
- ・ ブックスタート、うちどく（家読）のすすめ、おはなしのへや、移動図書館などの取組を行っている。



2 移動図書館「まつかぜ号」

- ・ 子どもたちが飛びつきそうな本を多めに巡回している。
- ・ 職員は本を仲立ちとして子どもたちとのやりとりを楽しんでいる。
- ・ 月1回程度だが、子どもたちはまつかぜ号を楽しみにしている。子どもたちのリクエストも受け付けている。

3 児童図書研究グループ「トトロ」の活動

- ・ 絵本紹介を必ずプログラムの中に入れるようにしている。
- ・ おひざにだっこのおはなしかい、ブックスタート、中高生向けの講習会、お年寄り向けのおはなし会など、グループで協力して行っている。



【参加者からの声】

- ・ 工夫された図書館づくりやそれに伴う大変な努力を感じ、子どもたちや地域の方々を思う気持ちを感じることができた。
- ・ 群読はとても興味深かった。活動に取り入れてみたい。

御意見・要望・感想（参加者アンケートから）



- ・ ボランティアしている方との情報交換ができるとよい。
- ・ ボランティアが学校図書館に深く関わって効果を上げている事例を紹介してくれるとよい。
- ・ それぞれの講演、あらためて日頃の活動を振り返りながら聞くことができ、とても勉強になった。
- ・ 読書で生まれる世界、広がる世界、子どもとともに楽しんでいきたいと思った。

